

令和7年度 南部町教育協働みらい会議 議事録

開催日時 令和7年5月20日(火)
午後3時24分～午後4時21分

開催場所 南部中学校 2F会議室

出席者 陶山町長、瀬田教育委員、畠教育委員、吉田教育委員、種教育委員
宮永副町長、二宮教育長

事務局 田村総務課長、岩田教育次長、河上総務・学校教育課長、畑岡人権・社会教育課長
書記 大塚人権・社会教育課課長補佐

傍聴人 濱家総務・学校教育課課長補佐、影本南部中学校長、船越法勝寺中学校長

	【開会 午後3時24分】
	【1. 開会】
	【2. 挨拶】
陶山町長	生徒4人を迎えての会議、うれしく思う。子どもの権利条約を批准してから何年にもなるが、日本の批准は遅く、法制定も遅かった。子どもの権利を守ること、守られることは当たり前。2023年に子どもにとって最善の社会を作ることが明文化された。法令の目指す重要ポイントは①命を守る②子どもにとって最善のことを優先する③子どもも意見表明し参加できる。④差別されない。自分の将来・社会について、考え、申し述べることができるので、自由に意見を聞かせてほしい。
	【3. 意見交換】
岩田次長	今回初めて、中学生の意見をもとに話していただくこととした。順に意見交換する。
	1)南部中学校「南部町をどんな町にしたいか」
南中井塚さん	中高生の心地よい空間づくり、「家にいたくない」時、同年代が安心して集える場所がほしい。中高生メインの施設がなく、町内施設は大人など自分たちと離れた年代方も利用するため、気を遣い、やすまらない。「ユースステーション兵庫」のように中高生の使えるフリースペースがあれば、お互いの悩みが相談できたり、一緒に勉強したりできる。
岩田次長	発表に対して、教育委員のご意見は。
瀬田委員	自身も会見小、南中出身。近くに居場所なく、身近にあったらいいと賛同する。フリースペースだれでも利用できる施設というのはいい意見だと思う。
畠委員	法中はキナルなんぶを利用している。南中は天萬庁舎の1階、3階で見かける。そういう場所が決まっていれば利用しやすい。
吉田委員	発表がすごい。わかりやすく提案されていてうれしかった。子どもだけのスペースは、大人は心配じゃないか、とも感じたが、他施設の例を見て、自分たちが作り出すものもあり、いいかもと思った。子どもたちを信頼して任せてもいいと感じた。
種委員	発表素晴らしかった。先輩たちも思っていたが声に出せなかった思いが伝わった。
岩田次長	法中の生徒の皆さんはどう感じますか。
法中鏡原さん	法中はキナルに行けるが、公共の場として利用するので、中高生のための場所があるといいと思った。
法中有田さん	キナルは騒ぎすぎて迷惑をかけたりしているので、気を遣って利用しないといけない。同じ年代で集まる場所、学校にでもあるといいと思った。

二宮教育長	昨年高校生サークルが国際感覚を身につけようと東京研修に出かけ、文京区の「ビーラボ」というユースステーションを訪ねている。自分たちがルール化して利用しており、中・高生とも同じ思いを持っていることが分かった。教育委員会と一緒に作れたらいい。
宮永副町長	空間(ハード)がほしいではなく、ソフト含めた環境がほしいことがわかった。少子高齢化により、意見が通りにくい状況にもなっている。皆が過ごしやすいような町になり、また帰ってきてもらえるように町も受けとめながら取り組んでいきたい。
陶山町長	以前どこかの複合施設で地下にあった中高生専用の場所に迷い込んだことがある。サードプレイスをどのように作りあげ、大人がどう運営にかかわり、つなげていくかを教育長と相談する。
	2)法勝寺中学校「将来の夢について思うこと」
法中鏡原さん	夢についてまだ決まっていない。どんな目標に向かっていけばいいのかわからない。学校の職業体験を通して、いろいろなことは分かったが、南部町にない体験もしてみたい。
法中有田さん	夢に至るまでの将来に向けての職業について知ることができる場所があるといい。
岩田次長	教育委員の皆さんは生徒の発言をどう感じられましたか。
種委員	一般的な職業しか、わからないことが多い。以前と比べてインターネットで調べられるようになったが、人生経験ある大人から聞けるといい。
吉田委員	職業が限られていた。大人と一緒に働きたい体験はもちろん、もっといろいろな職業を早く知れたらと思う。いろんな人と出会うことをしてほしい。活動に参加すると、他の方の生き方にも興味が持てる。そこから広がるので、いろいろ体験して町に戻ってきてほしい。
畠委員	世の中にはいろんな仕事がある。信頼できる人に相談することも大事。自分のやりたいことが何かを追い求めてほしい。
瀬田委員	夢はすぐには決められない。無限の職業がある中で、自分が何をしたいのか、どんな職業に就きたいのか自分のいろいろな体験から決める。いろいろな可能性を信じ、追い求めてほしい。その応援をする。
宮永副町長	中学校の時の目標はあった。友達の進路を見ながら、先生の話聞きながら、考えは変わっていった。ターニングポイント、決断の時に迷うときは相談していく。今は何でも探れる時代。自身の思考を研ぎ澄ましてほしい。その環境を整えるのが行政の仕事である。
二宮教育長	「夢がない」のは恵まれた環境と言える。親からの刷り込み(ピグマリオン効果)が多い状況。学び直しによりいろいろなこと、好きなもの、こと、人を見つける経験をたくさんしてほしい。その機会をできるだけ作っていく。学び直しにより、選択が変えられると信じている。
陶山町長	夢に悩むのは、皆さんは確率的に110歳まで生き、60,70歳でもう一度チャンスが来る。自分たちの人生と違い、3倍くらい楽しい夢が見れる。若いころ夢はなく、高校のころ「本を読め」といわれ、本の影響はあった。大学時に途上国支援に怖くて行けず、役場に入ってからでも機会はあった、あの時行っておけばよかったと思う。人生何が起こるかかわからない。
岩田次長	その他、聞いてみたいことなどないか。
宮永副町長	校区で生活圏が違うが、今の生活にほしいものがあれば教えてほしい。
法中有田さん	米子にあるような公園やイオンがない。自然がいいところにみんなが集える場所があったらいい。
法中鏡原さん	広い場所があったらうれしい。
南中井塚さん	SNSやゲームをしている人が多いが、自然と触れ合えるイベントがあったらいい。

南中石原さん	みんなと少し違うが、マクドナルドです。集まれるし、勉強もできる。
陶山町長	学校がつまらないと聞くことがあるが、最近一番おもしろい、楽しい瞬間は何か。
南中石原さん	休憩時間にみんなで遊ぶとき。給食の時。
南中井塚さん	学校はみんなで過ごす自由な時間が好き。
法中鏡原さん	みんなで騒いだり、盛り上がる時間が楽しい。
法中有田さん	学校に行くことがうれしい。体育祭などのイベントや給食に好きなものが出ること、部活や
	いつもと違う授業などは盛り上がり、がんばれる。
南中影本校長	集まる空間としての学校で、楽しい時間、いやな時間があり、そう感じしてくれるのがいい。
法中船越校長	今日の生徒たち、いつも楽しそうなのに緊張している。生徒たちならではの発想で皆に発信
	し、学校生活を楽しくしてくれている。
	【4. 挨拶】
二宮教育長	皆さんの貴重な意見や正直な気持ちを聞かせていただいた。「夢」+「努力」=「現実」が
	この町をの未来を明るくする。意見をしっかり聞いて施策に生かしたい。参加の皆様、
	ありがとうございました。
全員	(南中・法中生に拍手)
	【5. 閉会】
	午後4時21分